

## 「行革甲子園 2018」エントリーシート

### 【取組の内容】

#### 1 取組事例名

地域のたからものを活かした地域住民主体のまちづくり「守山まるごと活性化」の取り組み

#### 2 取組期間

平成 25 年度～（継続）

#### 3 取組概要

「住みやすさ日本一」が実感できるまち守山の実現を目指し、各地域の魅力を活かしたまちの活性化の取り組み『守山まるごと活性化』を推進しており、平成 25 年度に市内 7 つの学区それぞれを活性化するために必要な具体策を盛り込んだ『守山まるごと活性化プラン』を市民が主体となり策定した。これらを実現するために、計 29 のプロジェクトを立ち上げて活動をおこなっており、歴史・自然・生活など地域にある“たからもの”を活かした魅力的なまちづくりを、市民が主体となって行政と連携しながら進めていくもの。

#### 4 背景・目的

守山市には、次の特性があります。

- ・野洲川や琵琶湖、市街地にホテルが飛び交う豊かな自然資源
- ・弥生時代の遺構である下之郷遺跡や伊勢遺跡、中山道等の誇るべき多くの歴史資源
- ・自治体加入率 95%を超える人とひとのつながりが強いまち

これらを活かし、将来にわたるまちへの「愛着と誇り」の醸成、人とひとの地域コミュニティの活性化等を実現していくもの。

## 5 取組の具体的内容

○各学区のプロジェクトは以下のとおり。

- Pはプロジェクトの略  
- プロジェクト名の後の ( ) は平成29年度の会議開催回数

**受け継いできた自然・風土と未来を見つめる人が主役のまち**

A. 守山の北の玄関おもてなしP (13)  
サイクリングイベント、ポケットパークの維持管理など

B. 速野まるごと博物館P (12)  
速野まるごと博物館マップの作成、ふれあいウォーキングなど

C. びわこ地球市民の森いきいきP (11)  
ノルディックウォーキングイベント、四季桜イベントなど

D. 大川周辺の自然環境保全&環境学習推進P  
大川プロジェクトなど

E. ふるさとの文化を見つめなおし守ろうP (11)  
語り即興催、まちづくり絵本など

F. みんなで考えよう速野の未来P (12)  
広報誌発行、勉強会など

**伝統文化を生かし、先人の暮らしの知恵を子どもたちに引き継ぐまち**

A. 諏訪家屋敷をはじめとする玉津の歴史・伝統文化活性化P (11)  
諏訪家屋敷の活用、伝統歴史文化の語り部育成など

B. 赤野井湾再生P (1)  
グリーン作戦、金魚すくい、屋形船体験など

C. 食の地産地消推進P (2)  
野菜直売所開設、地元農産物の地産地消促進など

D. 玉津ホテル祭り・イベント推進P (1)  
ホテル生息環境の保全、飛翔観測など

E. 定住促進P (1)  
地区計画等の活用、若者の参画促進など

**人と水と歴史がつながる生成りのまち**

A. 新守山川館れ合い環境整備P (4)  
魚つかみ、桜まつり、新守山川整備、農集処理場後利用など

C. 水に育まれた小津の文化発見P (6)  
小津まちかどウォーク、たからものフォトコンテストなど

**人がつながり、自然と歴史を大切にすまち**

A. 自治会魅力向上P (9)  
自治会ハンドブック、わがまちミーティングなど

B. 守山の歴史・伝統文化再発見P (9)  
今宿一里塚探検隊、伊勢遺跡看板設置など

C. J R東朝活性化P (4)  
J R東朝地域防災マップ作成など

D. 水とホテルから輝くP (6)  
環境バランス水槽設置、ホテル幼虫放流など

**野洲川とともに生き、野洲川とともに栄えるまち**

A. 野洲川河川敷・伏流水再生P (7)  
親水公園「あめんぼう」の整備・管理など

B. みんな集まれ！中洲にぎわい活力創出P (6)  
交流イベント、ふれあいの灯でのパレオンアートなど

C. 農業を元気にするP (6)  
手作り味噌教室、羊羹会イベントなど

D. 安心して暮らせる公共交通を考えるP (5)  
公共交通アンケート実施、ふれあい交通の見直しなど

**「人をつなぐ」「四季をつなぐ」「たからものをつなぐ」未来につながるまちづくり**

A. 野洲川・法竜川・里川の「水辺空間」満喫P (1)  
野洲川「花いっぱい」運動、トンボ観察会など

B. 近江妙楽活用P (1)  
妙楽写真撮影講習会、ポスター、看板、記念切手など

C. 河西の「身近な魅力」情報発信P (3)  
河西みどころマップ、ブログ等での情報発信など

D. 河西のみんで「つながる」P (3)  
どろんこ遊び大会、世代間交流など

E. 健やか・安心・快適な生活環境創出P (4)  
かわにしの家事お助けリスト作成

**自然・歴史・文化を次世代につなげるまち**

A. ホテルを守るP (7)  
ホテル飛翔調査、観賞会、河川保護看板設置など

B. 吉身の歴史・伝統をつなぐP (6)  
マップ・カレンダー作成など

D. 祭りだ！わっしょいP (6)  
ルートマップ作成、若者参画企画など



○行政の関わり

- ・各プロジェクト会議へ市職員の参加し、実現に向けた助言等の実施
- ・地域の目標実現のための補助の実施

## 6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

- ・市民が自らまちの「たからもの」を発見し、これを活かす取り組みをおこなえるような仕組みづくりをおこなったこと。
- ・プロジェクトごとの取り組みに行政が寄り添えるよう、会館に配置された市職員がきめ細やかな支援をおこなうこと。
- ・進めていく中で、必要な経費については市で補助・助成できる仕組みを作ったこと。

## 7 取組の効果・費用

### 【効果】

- ・住民が地域にある歴史文化、自然資源を再認識することができる。
- ・地域住民の自発的な地域活性化に対する積極的な取り組み。  
平成 29 年度各プロジェクト会議の開催数計 168 回
- ・市民のまちに対する愛着の醸成。

### 【費用】

- ・守山まるごと活性化推進支援交付金 プロジェクトごとに最大 10 万円（年）までの支援
- ・守山まるごと活性化まちづくり助成金 学区単位で最大 300 万円（4 年）までに支援

## 8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

- ・地域の活性化と住民間のつながりを生み出すために、住民が中心（主体）となって、それぞれのプロジェクトに取り組んでもらうことが大切なことであるが、どうしても事務局（会館の市職員）頼みになりがちである。いかにして、地域の自立した活動に持っていくかがこれからの課題である。
- ・文化財、一級河川などに関わる取り組みについては、法的な制限により、思うような活動ができないことがある。

## 9 今後の予定・構想

- ・平成 26 年度にスタートした「守山まるごと活性化プラン」が 5 年目の節目を迎えることから、成果等の検証をおこない、住民の負担とならない範囲で引き続き取り組んでいただけるよう、見直しを検討している。

## 10 他団体へのアドバイス

- ・プロジェクトによって取り組みの内容が大きく異なっているため、支援制度の設計にあたっては、十分に検討した上で、活動をスタートすることが望ましい。

## 11 取組について記載したホームページ

守山市HP

<http://www.city.moriyama.lg.jp/chiikishinkoinfo.html>